



八戸工業大学 履修証明プログラム

2022年度 H I T 土木工学基礎プログラム

募集要項

主催 八戸工業大学
工学部 土木建築工学科

共催 (一社)青森県建設業協会上北支部
青森県土木施工管理技士会上北支部

目 次

1. 履修証明プログラムの目的	1
2. 履修証明プログラムの内容	1
3. 修了後に身に付く能力	1
4. 履修証明プログラムの構成(予定)	2
5. 開催日時(予定)	4
6. 開催場所(予定)	4
7. 履修証明プログラム受講料	4
8. 募集定員	5
9. 募集対象者	5
10. 応募資格	5
11. 応募期間	6
12. 応募方法	6
13. 選考方法、および選考結果の通知方法	7
14. 履修手続き	8
16. プログラムの修了要件	8
17. 個人情報の取り扱いについて	8
18. その他	8
19. 問い合わせ	9

『H I T 土木工学基礎プログラム』

1. 履修証明プログラムの目的

本学では、学校教育法第 105 条及び学校教育法施行規則第 164 条の規定に基づき、地域の将来を担う若手土木技術者の方を対象に、土木工学の専門分野に関するリカレント教育の場として、総時間数 60 時間の履修証明プログラムを提供します。

本プログラムを修了した方に対しては、学校教育法に基づいて「履修証明書」を交付します。

履修証明制度の詳細については文部科学省のホームページをご参照ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/

2. 履修証明プログラムの内容

本プログラムは、大学の土木工学の6分野（構造・材料・計画・水理・地盤・環境）で学習する“基礎的事項”を教授するものです。必要に応じて最近のトピックや研究に関する内容を加えながら、それぞれの分野を担当する本学の教員が講義を進めていきます。

本プログラムでは、土木工学の6分野を3年間（1年目は材料と環境分野について計 20 時間、2年目は構造と水理分野について計 20 時間、3年目は地盤と計画分野について計 20 時間）に亘って講義します。

3. 修了後に身に付く能力

本プログラムは、若手土木技術者を対象として、地域の将来を担う人材（能力）を養成することを目的としており、土木技術者に必要な土木工学の専門分野に関する“基礎的事項”を身に付けることができます。

4. 履修証明プログラムの構成(予定)

開設科目・ 講座等の名称		講座概要	時間数
(I) 1年目(20時間) (令和3年度開講済、令和6年度開講予定)			
1	材料①	建設材料の種類と用途、鋼材、アスファルトの基本的性質等	2
2	材料②	コンクリート用材料の種類と基本的性質(セメント、骨材、 混和材料等)	2
3	材料③	硬化コンクリートの性質①(力学的特性、体積変化等)	2
4	材料④	硬化コンクリートの性質②(耐久性等)	2
5	材料⑤	フレッシュコンクリートの性質	2
6	材料⑥	コンクリート構造物の施工と不具合	2
7	環境①	上下水道①水と生活・歴史、近隣利用・排水から輸送・処 理、浄水プロセス、浄水施設	2
8	環境②	上下水道②下水プロセス、下水施設	2
9	環境③	廃棄物の処理・処分① 廃棄物処理・処分、工事排水の処理	2
10	環境④	廃棄物の処理・処分② 不法投棄、災害廃棄物、環境修復	2
(II) 2年目(20時間) 令和4年度開講			
11	構造①	構造力学の基礎1 力学の基礎, 支点の種類と反力の計算	2
12	構造②	構造力学の基礎2 静定構造物の部材力の計算	2
13	構造③	構造力学の基礎3 はりのたわみとトラス・ラーメン構造計算	2
14	構造④	構造力学の基礎4 不静定構造物の部材力の計算	2
15	水理①	水理学の基礎1 静水圧の性質、平面・斜面に働く静水圧	2
16	水理②	水理学の基礎2 連続の式、ベルヌーイの定理、水流の測定	2
17	水理③	水理学の基礎3 管水路の水理1(各種の損失)	2
18	水理④	水理学の基礎4 管水路の水理2(動水勾配・エネルギー線)	2
19	水理⑤	水理学の基礎5 開水路の水理1(等流、不等流)	2
20	水理⑥	水理学の基礎6 開水路の水理2(水面形の計算等)	2

(Ⅲ) 3年目(20時間) (令和5年度開講予定)			
21	地盤①	地盤工学の基礎1 土の基本的性質と分類	2
22	地盤②	地盤工学の基礎2 土の締固め	2
23	地盤③	地盤工学の基礎3 土中の水	2
24	地盤④	地盤工学の基礎4 土のせん断強さと変形	2
25	地盤⑤	地盤工学の基礎5 土圧と擁壁の安定解析	2
26	地盤⑥	地盤工学の基礎6 基礎の支持力と沈下	2
27	計画①	土木計画学の基礎1 土木計画学の手順	2
28	計画②	土木計画学の基礎2 調査と調査データの分析	2
29	計画③	土木計画学の基礎3 計画における予測	2
30	計画④	土木計画学の基礎4 計画案の評価	2
		プログラムの総時間数	60

※上記の講座概要、開講順序等は『予定』です。都合により変更する場合があります

本プログラムは、年度(20時間)単位で受講することが可能です

例えば、

プログラムの2年目から履修を開始する場合は、下記のように(Ⅱ)→(Ⅲ)→(Ⅰ)の順番で受講することが可能です

最終的に60時間分の全分野のプログラムを受講して「合格」すれば、「履修証明書」の交付を受けることができます

(例)プログラムの2年目から履修する場合

(Ⅱ)	構造分野	8時間、	水理分野	12時間、	計20時間を受講
	↓				
(Ⅲ)	地盤分野	12時間、	計画分野	8時間、	計20時間を受講
	↓				
(Ⅰ)	材料分野	12時間、	環境分野	8時間、	計20時間を受講
					合計60時間

5. 開催日時(予定)

- ① 2022(令和4)年 8月29日(月) 13:00~17:00 (2時間×2コマ)
- ② 2022(令和4)年 9月 7日(水) 13:00~17:00 (2時間×2コマ)
- ③ 2022(令和4)年 9月21日(水) 13:00~17:00 (2時間×2コマ)
- ④ 2022(令和4)年 10月 4日(火) 13:00~17:00 (2時間×2コマ)
- ⑤ 2022(令和4)年 10月17日(月) 13:00~17:00 (2時間×2コマ)

令和5年度のプログラム開催日時は、募集時にお知らせします
概ね同様の期間で実施する予定です

※上記開催日時は『予定』です。都合により変更する場合があります
詳細については、【履修可】となった方にお知らせします

6. 開催場所(予定)

十和田市建設会館

〒034-0081
青森県十和田市西十三番町4-10

Tel 0176-23-6141

※上記の会場は『予定』です。都合により変更する場合があります
詳細については、【履修可】となった方にお知らせします

7. 履修証明プログラム受講料

受講料(年額) 40,000円(税込)
※初年次開講(20時間)分

【参考】修了までの受講料(合計) 120,000円(税込)
※3年(60時間)分

プログラム受講料は1年(20時間のプログラム)ごとに一括納入となります
受講料の納入方法等は、【履修可】となった方にお知らせします
なお、一度納入された受講料は、別に定める場合を除いて返却いたしません

8. 募集定員

40 人/年（プログラム開講に必要な最低募集人数 20 人/年）

※募集の結果、20人に満たなかった場合は、当該年度のプログラムを中止する場合があります

9. 募集対象者

若手土木技術者、または、これから土木技術者を志す方

10. 応募資格

高等学校を卒業、もしくは高等学校卒業程度認定試験、大学入学資格検定の合格者など、本学への「入学資格を有する方」で、土木工学の専門分野に興味があり向学心のある方

・本学への入学資格(下記のいずれかに該当)

- 一 高等学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
- 三 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 五 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 六 文部科学大臣の指定した者
- 七 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 八 相当の年令に達し、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

本学への入学資格に関する不明な点は、19の問い合わせ先までお願いします
なお、選考により【履修可】となった方には、応募資格を確認するため、卒業証明書等の根拠資料を提出していただきます（応募時には提出不要）

これまでに本学履修証明プログラムの受講を認められた方は再提出不要です

※選考結果通知から履修手続き期限までの期間が非常に短く設定されているため、卒業証明書等の根拠資料はお早めにご準備ください。
特に、遠方の高校等を卒業された場合は、発行後手元に届くまで時間がかかる可能性があります。

11. 応募期間

2022(令和4)年5月23日(月)～6月24日(金) 17時まで

※郵送(簡易書留等)・持参の場合は、提出先**必着**とします
期間を過ぎて届いた場合は受理しませんので、郵送で手続きする場合は
配達日数を考慮して発送してください
また、不着等の事故防止のため、必ず「簡易書留」など配達記録が確認
できる方法で郵送してください

12. 応募方法

下記、①または②のいずれかの方法により、募集期間内に応募してください
既に本プログラムの【履修可】となっている方も年度ごとに応募が必要です

《新規応募者》

応募いただいた情報をもとに選考を行い、履修の可否をお知らせします

① 願書提出による応募

本募集要項に添付の願書に必要事項を記入して応募してください
(貼付する写真の裏面に氏名を記入してください)

※願書の電子ファイルは八戸工業大学HPからダウンロード可能です
ダウンロードできない場合は、下記提出先にご相談ください
ダウンロードした様式は両面印刷してください

応募の際は、下記の提出先に郵送(簡易書留等)または持参してください

提出先：031-8501
青森県八戸市大字妙字大開 88-1

八戸工業大学 学務部教務担当
「HIT土木工学基礎プログラム」 係

持参提出の受付時間：平日(月～金)の9:00～17:00
土・日・祝日・大学休業日を除く

(問い合わせ： Tel 0178-25-8025)

② インターネットからの応募

※下記の応募用URLから、願書の項目に相当する必要事項を漏れなく入力してください

応募の際には、google のアカウントが必要です

顔写真の電子データを事前に準備したうえで応募してください

顔写真の電子データについて

画像サイズ：600×450 ピクセル又は 800×600 ピクセル

ファイル形式：JPEG

ファイル容量：10MB 以内

ファイル名は応募者の氏名.jpg としてください

(例) 工大太郎.jpg



応募用 URL

<https://forms.gle/5fBMBkREiQ4GUPFx9>

《継続応募者》

本履修プログラムを【履修可】となっている方（継続の方）は、今年度の履修意思確認のため、①または②に従って応募してください

なお、継続申請の場合は「履修者番号」を願書の余白に鉛筆で記入してください
(インターネット応募の場合は指定の記入欄に入力)

応募がなかった場合は、今年度の履修を希望しないものとして取り扱います

13. 選考方法、および選考結果の通知方法

選考方法：応募時に提出いただいた「①願書」、または「②登録内容」により書類選考を行います
継続応募者を除いた新規応募者から先着順に選考を行い、合格者が定員に達した時点で打ち切ります

結果通知方法：7月14日（木）以降に郵送(又は メール)で通知します

※選考過程および選考結果に関するお問い合わせには、一切お答えできませんので、予めご了承ください
(選考結果の通知が届いていない場合を除く)

14. 履修手続き

選考の結果【履修可】となった方には、結果通知時に「履修手続要項」をお送りします

「履修手続要項」に従って、受講料の納入等、必要な手続きを行って下さい
期限までに履修手続きが完了しなかったときは、履修許可を取り消します

15. プログラムの履修方法

選考の結果【履修可】となり、履修手続きを完了した方には「履修案内」を送付します。プログラム履修に際しては、「履修案内」を参照して受講してください

なお、履修時にノートPC（Excel）を使用する講義があります。ノートPCを持参する講義は「履修案内」、または受講時に指示します

16. プログラムの修了要件

20 時間／年のプログラムを3年間履修し、合計60時間のすべての分野の合格をもって修了となります

不合格の分野がある場合はプログラム修了とはなりません

17. 個人情報の取り扱いについて

本履修証明プログラムへの応募、及び各種手続き等により提供された個人情報は、本学が開設する履修証明プログラムの実施、運営、諸連絡、履修証明書発行等、これらに付随する業務を行うためにのみ使用します。

提供された書類等ならびに個人情報は適切に管理し、使用目的以外には使用しません。

18. その他

- ・本プログラム履修生に対し、本学学生としての身分は付与されません。
- ・一度納入された受講料は、返還いたしません。
- ・受講のために必要な交通費等は各自負担となります
- ・本学の秩序を乱すなどプログラム履修生として相応しくないと判断された場合、履修の許可を取り消すことがあります。この場合、受講料の返却はありません

19. 問い合わせ

〒031-8501

青森県八戸市大字妙字大開 88-1

八戸工業大学 学務部教務担当
H I T 土木工学基礎プログラム 係

Tel 0178-25-8025 Fax 0178-25-3827

Mail kyoumu@hi-tech.ac.jp